



古城小だより

学校評価アンケート
(前期) 特別号

令和5年9月14日

学校評価アンケート(前期)に御協力いただき、ありがとうございました。前期の結果をふまえ、9月からの指導にいかしていきます。

7月にお願いしました学校評価アンケート(前期)の保護者分の集計結果は、別紙(「令和5年度 前期学校評価アンケート集計結果」)のとおりです。

今回、保護者の皆様からいただいた貴重な御意見を真摯に受け止め、学校全体として改善すべき点や、学級担任間などで共通理解を図り、努力すべき点等を、職員全体で確認をし、整理しました。

前期のアンケート結果をふまえ、チーム古城小として、子どもたちのよりよい成長のために職員一同、今後も努力していきますので、よろしく願いいたします。

【保護者アンケート結果の概要と今後の対応について】

A 教育活動、教職員

①集計結果から

全体として高い評価をいただきました。特に、「1. 学校は、保護者や地域に対して学校経営方針を示している」、「2. 学校は、特色ある行事や体験的な教育活動を行っている」、「6. 学校は、健康や安全に関する指導の充実に努めている」の項目でよい評価をいただきました。今後も、学校教育目標を達成するために、授業指導を基本とした様々な活動を工夫させ、子どもたちの知徳体の力を高める教育実践を進めていきます。

②自由記述から

自由記述欄に、教育活動及び教職員に関わる内容として、次のような記述がありました。

- いつも丁寧に指導してもらい、感謝している。
- 担任の先生でなくとも、いろいろな先生方が子どもの名前を知り、コミュニケーションをとってくださり、ありがたい。
- 子どもが学校に楽しくいけているのは、先生方のおかげだと感謝している。
- 子どもたちのアンケートに対して、一人一人にきちんと向き合って話をしてくれて、何かあった時なども心強いと感じている。
- 不安なことがあっても、担任の先生方が対応してくださり、また仲間の支えがあり、楽しく登校できている。
- △心の教育は、担任の先生だけでなく、専門家の力も借りながら、子どもも保護者も含めみんなで考えていきたいと考える。適切な対応の仕方を知り、フォローしていきたい。
- ▲担当教員によって、児童一人一人をよく見ている範囲が異なるように感じる。20人未満の子どもをよく見れる教師が育っていくとよいと思う。
- ▲コロナが第5類移行後、初めての運動会だったが、1日開催ではなく、午前中開催だったので、少し残念だった。運動会後に給食は、親としてさみしい感じがした。

いただいた御意見をふまえ、特に、心の教育については、専門機関との連携をさらに強化するとともに、全職員で共通理解と保護者の方々にも御協力をいただきながら、適切な指導を進めてまいります。また、子どもの声を丁寧に聞くことを忘れず、学年の発達段階や子ども個々の実態などを十分に配慮した指導を心掛け、対応してまいります。

若手教員の多い本校で、教職員の指導力向上はとても重要であると認識しています。昨年度から年間の教員研修に加えて、月に1回の若手教員研修を実施しておりますが、今後も教職員の指導力向上に向けて取り組んでいきます。

今年度の運動会は、コロナの第5類移行1か月後であり、コロナ前のように地域の方々から多数参加していただく地域合同開催は困難であると考え、学校単独の開催としました。さらに、子どもの参加種目を個人2種目（徒競走、チャンス走）、団体2種目（学年、表現）の計4種目を確保しながらも、学校単独での開催だと約4時間弱で実施可能であることから、午前中の半日開催としました。市内他校の状況を参考にしますと、今年度、12校の小学校が「午前中の半日開催（昼食前に終了）」の実施で、3校が「①午前中と②給食後に午後2時位までの活動とする1日開催」という状況のようです。来年度の運動会については、今後、学校運営協議会等での御意見をふまえながら検討していきます。

B 環境

①集計結果から

「8. 学校は、明るく活気がある」の項目では、高い評価をいただきましたが、「9. 学校は、交通安全や学校事故等の安全への配慮がされ、学習環境が整っている」の項目は、肯定的評価84.8%と、他の項目に比べて低い数値でした。安全への配慮は子どもの命を預かる学校において最も重要です。職員による交通指導では、年度当初からの朝の登校指導に加え、6月からは下校時の見回り指導を定期的に行っています。また、昨年度から不審者対応（授業時間における学校正門及び児童用通用門の閉鎖など）の改善等を行っていますが、今回の結果をふまえ、施設等の安全管理、また子どもたちが学ぶ上で適切な学習環境であるかを再度見直し、一層の改善を図っていきたいと思います。

②自由記述から

教育環境（交通安全、学習環境など）に関わる内容として、次のような記述がありました。

○たまに来校すると児童の元気なあいさつがあり、とても活気を感じる。

○校長先生に毎日、校門に立っていただき、ありがたい。

▲通学路は、危険な場所があるので、しっかり確認してほしい。何年も危険箇所を記載しているが、改善がない。

▲夜、学校の窓が開いていたり、電気がついていたりすると、とても目立つので、戸締まり消灯に注意してほしい。

▲授業参観等で、机と椅子の高さが子ども一人一人の身長に合っていないように感じた。定期的に調節してほしい。

通学路の安全確保については、8月の学校だよりに記載したとおり、8月初旬に市の関係者が合同で通学路を点検及び検討し、9月以降に旭市で改善に向けた対策を順次実施することとなっております。校舎内の戸締まり及び消灯については、今後も徹底してまいります。1学期は年度当初ということもあり、教室等で夜遅くまで職員が業務を行う日が多くありました。現在、教員の多忙化が問題視されており、学校現場では教員の働き方改革を進めることが求められております。2学期は、できるだけ職員が夜遅くまで勤務しないように努めていきます。子どもの机と椅子の高さ調整については、学習活動に支障がないよう、今後も定期的実施するだけでなく、教室内の棚や掲示物などにも配慮し、子どもの学習意欲が高まる場となるよう工夫していきたいと思います。

C 家庭との連携

①集計結果から

全体として高い評価をいただきましたが、「11. 学校は、保護者に対し授業参観や各種行事などへの参加を呼びかけている」、「13. 学校は、児童の保健に関する指導や連絡を行っ

ている」の項目でよい評価をいただきました。一方で、「10. 学校と保護者は、信頼関係を築けている」が89.9%であり、この項目は、「12. 学校は、保護者からの連絡や相談に丁寧・誠実に対応している」や「14. 学校は、児童の学校での様子や諸連絡を家庭に伝えている」との関連性が高いと考えられます。学校が保護者の方々と信頼関係を築くためには、子どもの様子や今後の予定などをしっかり伝えること、さらには保護者の方々からの連絡や相談に対して、丁寧かつ誠実に対応していくことが重要であると考えます。このことを全職員で再確認し、努力してまいります。

②自由記述から

自由記述欄に、家庭との連携に関わる内容として、次のような記述がありました。

- 学級通信などで、学校での様子や諸連絡をととても詳しく教えてもらい、感謝している。
- 友達関係の相談なども、すぐに対応して下さり、いつも安心している。
- 以前、ちょっとした質問をした際、とても丁寧に教えてもらった。
- 連絡帳に毎日、下校時刻を書いてくれるのは、とても助かっている。
- ▲大切な連絡は、子どもまかせにせず、連絡帳に記載をお願いしたい。
- ▲ランドセルの中身がいつもパンパンで気になる。登下校の歩きで、子どもの負担になるので学校に置いてよいものを確認してほしい。
- ▲古城小検定のテスト範囲を早めに教えてほしい。

家庭への連絡については、アンケート集計結果といただいた御意見をふまえ、保護者の方々への丁寧な連絡の重要性について、全職員で再確認したところです。特に、大切な連絡事項については、学級だよりや連絡帳、スクールメール（テトル）等で、確実に保護者に連絡するようにします。また、連絡帳等で保護者から問い合わせがあった場合には、迅速に対応し、詳細を説明するようにしていきます。子どもが家庭に持ち帰る教科書、ノート、ドリルなどについても、学年の実態に応じて精査し、登下校で負担がかかり過ぎないようにしていきたいと思います。

D 子供

①集計結果から

全体として高い評価をいただきましたが、特に「16. 子供は、時と場に応じた挨拶をしている」の項目でよい評価をいただきました。挨拶はコミュニケーションの基本です。今後も、古城小の共通のめあてである「よく **あ**（挨拶・安全な行動）・**そ**（そうじ・心をそろえる）・**べ**（勉強・ベストをつくす）」を全ての教育活動で子どもたちに意識させ、指導していきたいと思っております。

②自由記述から

自由記述欄に、家庭との連携に関わる内容として、次のような記述がありました。

- 自分からあいさつをしている子どもが多いことはすばらしい。
- 児童みんなが思いやりがあると感じる。
- 毎日楽しそうに学校に行っていて、感謝している。
- 子どもは、のびのびと成長し、楽しく学校に通うことができている。
- 担任の先生やクラスの友達との学校での出来事をいつも楽しそうに話しており、「先生大好き」「友達大好き」「学校大好き」という気持ちが伝わってきて、親としてうれしく思う。
- △「学校に行きたくない」ではなく、「学校に行きたい」という言葉が、子どもから多く聞けることを願っている。

自由記述においても、全体として肯定的な意見をいただきました。今後、全ての子どもた

ちが「学校は楽しい」と感じられるように、日頃の様子から個々を見取るとはもちろんのこと、児童アンケートや教育相談週間の面談などを活用して、子どもや保護者の方々の声を聞き、状況を把握しながら、適切に指導していきます。

E 家庭地域

①集計結果から

「19. 規則正しい生活の実践に気を付けている」及び「20. 授業参観やPTA活動、奉仕作業等に積極的に参加している」で高い数値として示されているとおり、保護者の方々には家庭で子どもたちのよりよい成長のために気を付けていただいていること、そして学校の教育活動及びPTA活動等に御協力いただいていることに大変有難く感じております。

「18. 地域（近所の方・保護者以外の方）は、学校の教育活動に協力している」の項目では、肯定的評価割合が84.3%という結果ですが、昨年度（77.2%）に比べて高くなりました。1学期は、5年生の田植え学習で古城地区社会福祉協議会の皆様、2年生の野菜づくりでJAちばみどり青年部の皆様に支援していただきました。今年度、本校は旭市のコミュニティ・スクールのモデル校でもあり、地域コーディネーターの御協力もいただきながら、2学期以降も各種教育活動において、地域の方々の支援を積極的に活用していきたいと思っております。

その他

①自由記述から

▲旭市内で干潟地区が最も児童が少なく、競争相手や多様な出会いの損失になっていないか心配。早期の再編を希望。

旭市教育委員会主催のもと、干潟地域の小学校再編検討会議が進められております。古城小学校地区においては、第1回地域検討会議が7月12日に、第2回地域検討会議が9月4日に開催されました。第1回地域検討会議の概要については既に旭市教育委員会から再編だよりとして配信されておりますが、干潟地区の小学校再編については、今後も再編だよりを注視していただければと思います。